

各位

武雄・杵島地区農業指導連絡協議会
杵島農業振興センター

「稲作情報（第8号）」について（送付）

このことについて、下記のとおり「稲作情報（第8号）」を送付しますので、業務の参考にしてください。

1. 気象概況

アメダス観測値（白石）

月	半旬	平均気温			最高気温			最低気温			降水量			日照時間		
		平年 (°C)	R5 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R5 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R5 (°C)	平年差 (°C)	平年 (mm)	R5 (mm)	平年比 (%)	平年 (hr)	R5 (hr)	平年比 (%)
6月	1	21.6	22.6	1.0	27.6	28.0	0.4	16.7	18.4	1.7	21.8	21.5	99	25.9	26.8	103
	2	22.3	20.7	-1.6	27.8	24.7	-3.1	17.8	17.4	-0.4	28.6	52.5	184	23.0	17.2	75
	3	22.8	24.3	1.5	27.9	29.0	1.1	18.7	21.1	2.4	40.9	0.0	0	21.2	17.6	83
	4	23.3	25.0	1.7	27.9	31.9	4.0	19.7	19.8	0.1	58.6	0.0	0	18.8	42.9	228
	5	23.9			28.1			20.6			74.3			15.4		
	6	24.6			28.4			21.6			84.4			14.1		

○6月4半旬の平均気温は平年に比べて1.7°Cほど高く、日照時間は多照となった。

2. 水稻情報田の生育状況（調査日：6月19日）

項目 品種	年次	草丈 cm	茎数 本/m ²	主稈 出葉数L	葉色 SPAD	概要
コシヒカリ	本年値	84.9	597	13.4	38.1	・草丈は平年に比べ高く、 茎数は多い。 ・主稈出葉数は平年より0.3葉 多い。葉色は平年より濃い。 ・現在、止葉出葉中である。 ・葉耳間長は-12~-10cm
	平年値	72.0	568	13.1	35.3	
	平年比(差)	118	105	+0.3	+2.8	

※ 平年値は、H23~R4年度の平均値 ※耕種概要は稲作情報NO1参照

(管内の生育状況)

- 現在、生育ステージは、穂孕み期を迎えている。
- 生育が旺盛で葉色が濃い圃場では、葉いもち病の病斑（停止型）を確認した。
- 強い中干し後、急に湛水状態に移行した圃場において、根痛みによる葉先の黄化を確認している。
(かなり土壌表面が白乾した圃場にて確認している)
- 葉耳間長からみた情報田の出穂日は、7月1日頃と予想される。

3. 今後の管理（極早期コシヒカリ）

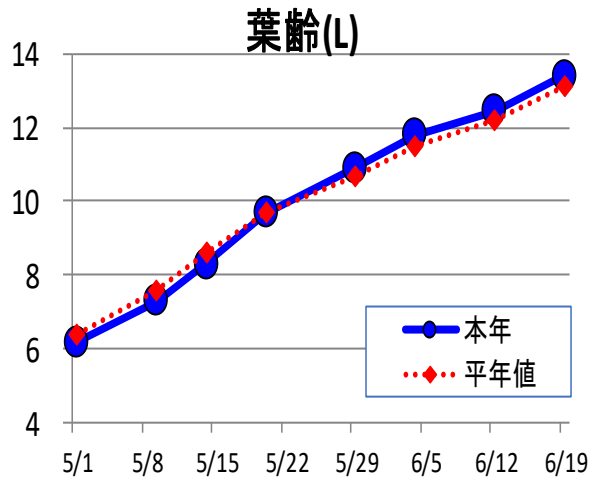
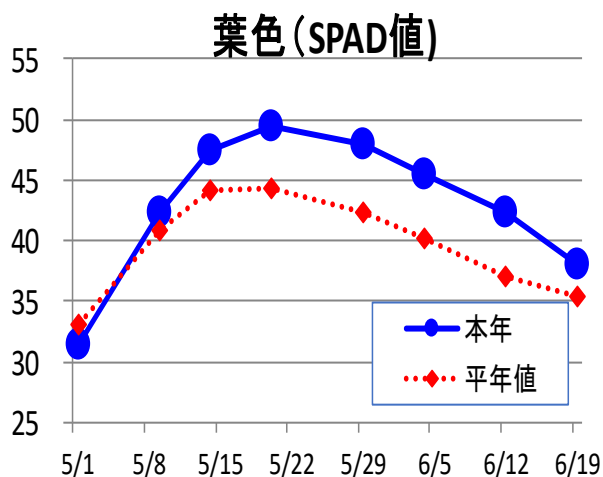
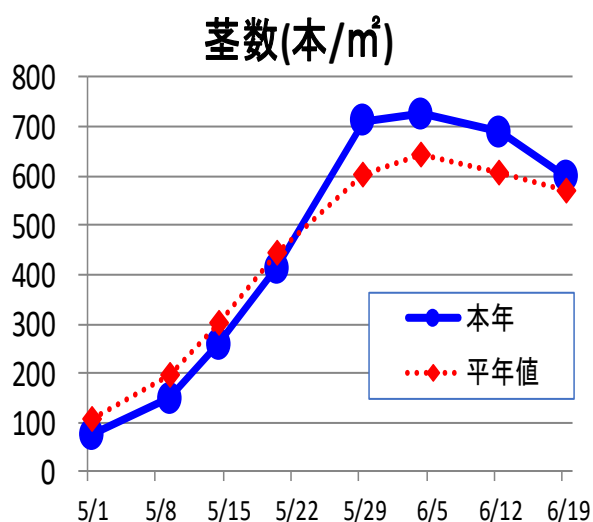
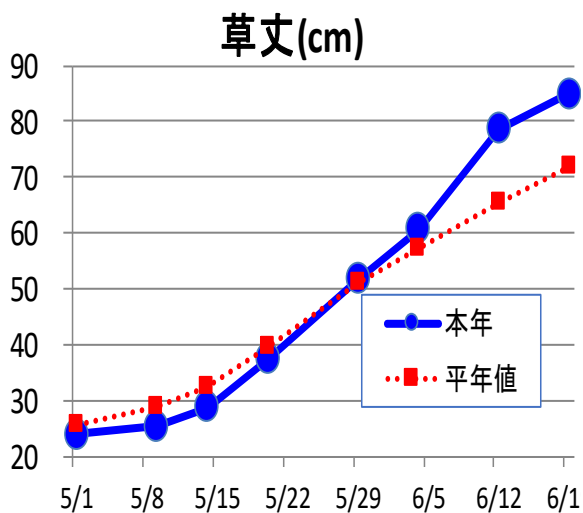
(1) 水管理

- ・「コシヒカリ」は、穂孕期となっている。幼穂形成期から出穂期にかけては要水量が増加する時期である。
穂孕み期から穂揃期（6月18日頃～7月8日）は浅水管理とする。（湛水状態を保ち、潤土管理）
また、台風が接近する場合は、出来るだけ深水管理とする。

令和5年産 コシヒカリ情報田データ

品種名 コシヒカリ 市町名 白石町 白石事業所
 移植日 4月7日 栽植密度 16.4 株/m² 出穂期
 (苗質) 草丈 14.8 cm 葉齡 3.8 L

		5/1	5/9	5/14	5/20	5/29	6/4	6/12	6/19
草丈 (cm)	本年	24.0	25.3	28.8	37.4	51.8	60.8	78.6	84.9
	平年値	25.6	28.9	32.6	39.5	51.0	57.3	65.4	72.0
	平年比	94	88	88	95	102	106	120	118
茎数 (本/m ²)	本年	75	148	259	413	711	725	689	597
	平年値	109	198	301	443	604	644	607	569
	平年比	69	75	86	93	118	113	113	105
葉齡 (L)	本年	6.2	7.3	8.3	9.7	10.9	11.8	12.5	13.4
	平年値	6.4	7.6	8.6	9.7	10.7	11.5	12.2	13.1
	平年差	-0.2	-0.3	-0.3	0.0	0.2	0.3	0.3	0.3
葉色 (SPAD)	本年	31.4	42.3	47.5	49.5	48.0	45.4	42.4	38.1
	平年値	33.0	40.9	44.1	44.3	42.4	40.1	37.0	35.3
	平年差	-1.6	1.4	3.4	5.2	5.6	5.3	5.4	2.8



4. 今後の管理（普通期水稻）

《共通》

- 本年の麦類の収量は前年より少ないものの、平年より多く、麦わらの量も多い。
麦わらすき込みを行った圃場では、ガスのわきが予想されるので、**初期生育を促進するため、移植前日までに窒素成分で0.5g～1g/箱の弁当肥を施用する。**
移植後は、ガス抜きによる水管理が重要である。

(1) 「夢しずく」

- ・「夢しずく」は、早いところで6月8日（平坦上部）から始まり6月15日前後が移植盛期となった。今後は、移植時期に応じた水管理を徹底する。また、除草剤は、薬剤の使用基準を守り、処理後7日経過したら浅水管理に移行する。
- ・移植後、常時淡水した圃場ではガスの発生が目立っている。さらに前作の残さや、麦わらが多い水田では、今後ガス（湧き）と還元（酸素不足）が進むことが予想される。
「ガスの発生が著しい場合」は、除草剤処理から7日経過したら、「ガス抜き」のために半日～1日程度の落水を行う。
特に、足を踏み入れずに自然に気泡が出るようであれば直ちに落水する。（表1参照）

《表1 ガス（湧き）発生程度及び対策》

湧きの程度	様相とガス程度水稻への影響	水稻への影響	ガス対策
稀	足を踏み込んでも気泡なし	なし	必要なし
少	足を踏み込むとわずかに気泡が見られる	なし	必要なし
中	足を踏み込むと気泡の発生が多い	根の活力低下	落水後に用水更新
多	足を踏み込むと盛んに気泡を発生	根張り不良	落水後に用水更新を繰り返す
甚	晴天時自然に気泡発生する（ぱちぱちと音が聞こえる。）水田歩くと著しく気泡発生。	根伸長阻害、黄化	中耕と用水更新を繰り返し回復後には、間断灌水（本格的夜干）



手を田んぼに入ると、気泡（ガス）が激しく発生する
⇒ガスの障害により生育抑制や古い葉の**葉先に褐色の斑点が発生する。**

(2) 「さがびより」・「ヒノヒカリ」

- ・水管理等は「夢しずく」を参照する。

(3) 「ヒヨクモチ」

- ・「ヒヨクモチ」は6月25日以降に移植する。

令和5年産 水稻作付期間気象図
アメダス観測値(白石)

